

# 2018年3月31日に党大会を開催し、以下の活動方針を決定致しました。

## 1. 徹底規則緩和で日本経済を強化

供給者重視から消費者重視に観点を移行、新規参入を阻む規制を緩和し既得権益確保のための不要な規制を撤廃、再チャレンジ可能な社会とする。社会経済活動に関する徹底した規制の撤廃と緩和のための措置に関する法律を提案し、わが国の経済成長の促進を阻害する規制は原則撤廃する。

## 2. "働く"を支援する生涯活躍改革

高齢化が進む中、働きたい人が生涯にわたって働くことができる社会を目指すための仕組みを構築していく。働いても年金の受給額が減らない年金制度を導入する。高齢者の雇用を創出するとともに、高齢者に対する「働く」「学ぶ」への取り組みを支援する。

## 3. 身を切る改革で財源を生み出す

議員報酬を3割カット、議員定数を3割カット等の身を切る改革を進めて議員自らが覚悟を示し、それに続く行財政改革を進めて財源を確保しプライマリーバランスの黒字化を達成する。

## 4. 機会平等社会のための教育無償化

経済的な理由によって教育を受ける機会を奪われてはならない。個人の適性に応じた教育を受けられる機会平等の社会を創る。

## 5. 大規模災害に対応できる仕組み改革

年々大規模化する自然災害に対応できるしくみとして、都道府県と国の出先機関の協議会を作り、そのトップを都道府県知事とし、地域主導による防災・復旧体制を充実させる。

## 6. 政策提案型政党を打ち出す

日本維新の会は野党であるが、何でも反対の野党ではない。我々は常に国民の目線に立ち、与党に対し良いものは良い、悪いものは悪いと是々非々の立場で国会の対応をしていく。昨年国会では110本以上の法案を国会に提出した。今後も対案を提案することを原則とした国会活動を展開していく。



# 藤巻けんたの維新八策

### 1 金融・経済のプロとして!

より良い経済政策を創るためには、一人でも多くの金融・経済に精通した議員が深い議論をする必要があります。私は金融の最前線で働いていました。その知識・経験を活かし、強い日本経済を実現します!

### 2 地域の声国会に!

「資金繰りが厳しいので融資をしてほしい」「景気は一向によくない」「給料がなかなか上がらない」私は銀行マン時代、そういった地域の生の声をずっと耳にしていました。自らの経験を活かし、必ず地域の人達の声を国会に届けます!

### 3 教育の完全無償化を!

教育の機会は平等でなければなりません。経済的な理由から進学を断念せざるを得なかった。このような事態は絶対に避けるべきです。保育園・幼稚園から大学まで、教育の完全無償化を実現します!

### 4 議員歳費の3割削減へ、身を切る改革を!

国会議員の年収は、第二の給与と呼ばれる文通費を加えると約3,400万円です。議員だけがぬるま湯に浸かるのは許されません。維新の所属国会議員は議員歳費の中から毎月18万円を、東日本大震災や熊本地震の被災地に寄付しています。議員歳費の3割削減、国会議員の身を切る改革を断行します!

### 5 若い世代の代表として!

平成29年3月現在、40歳未満の国会議員は約6%しかいません。一方総人口では40歳未満の人は約40%です。これでは若い世代の声はほとんど反映されません。若い世代の代表として、その声を必ず国会に届けます!

### 6 しがらみのない政治を!

私は特定の組織や団体・宗教の支援を、一切受けていません。その分選挙では不利になってしまうかもしれません。しかしだからこそ、特定の組織や団体・宗教に利益を誘導するような政治をしなくて済みます。しがらみのない、本当に日本の為になる政策提言を行います!

### 7 維新の改革を全国で!

維新は大阪で大阪都構想を初め、財政・教育・行政・公務員制度・議会等あらゆる分野で改革を行ってきました。結果として維新は大阪では、自民党を超える支持を得ています。維新の改革が必ず、日本の為になると確信しています。

### 8 既得権益と闘う成長戦略を!

私達維新はこれまで多くの既得権益と闘ってきました。その闘いを、歩みを止めるつもりはありません。既得権益と闘う成長戦略を実現します!

## 藤巻けんた プロフィール

昭和58年  
英国ロンドン生まれ

平成14年  
聖光学院高等学校卒業

平成20年  
慶應義塾大学 経済学部卒業

同 年  
みずほ銀行 銀座中央支店入行

平成23年  
みずほコーポレート銀行 本店  
国際為替部入行

平成25年  
参議院議員 公設第一秘書

平成28年  
千葉維新の会 幹事長